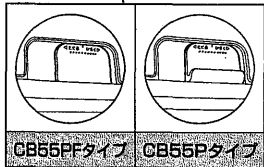
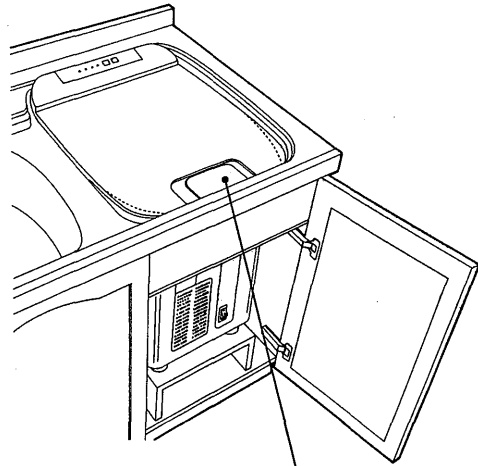


三菱食器洗い乾燥機

EW-CB55P  
EW-CB55PF

# 据付工事説明書



CB55PFタイプ CB55Pタイプ

## もくじ

安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	4
各部のなまえと外形寸法	5
据付工事の概略	6
取付フランジについて	8
据付手順	9~15
試運転と点検	16

## 据付工事をされる方へお願い

このたびは、「三菱食器洗い乾燥機」をお取扱いいただきまして、まことにありがとうございます。

お客様に満足してご利用いただくために、この据付工事説明書をよくお読みの上、正しい取付けをお願いいたします。

●据付工事は必ず専門の工事店さまが関係法令（水道法・建築基準法・各地の条例、規定・電気設備技術基準等）に基づいて行ってください。

# MITSUBISHI

# 安全のために必ずお守りください


## 警告表示と注意表示について


この施工説明書記載の警告事項 **警告**、**注意** の区別について

**警告** 据付を誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性がある危険な状態が想定される内容を示します。

**注意** 据付を誤った場合、人が障害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。

 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを確実に取り付けてください）が描かれています。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 据付完了後、試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体と同梱されている取扱説明書（保証書付）は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、据付完了後にお客さまにお渡しください。

## 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使ってください。



分解禁止

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

アースを確実に取り付けてください。



アース接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。



水場使用禁止

ショート・感電の恐れがあります。

電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



分解禁止

火災の原因になります。

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。

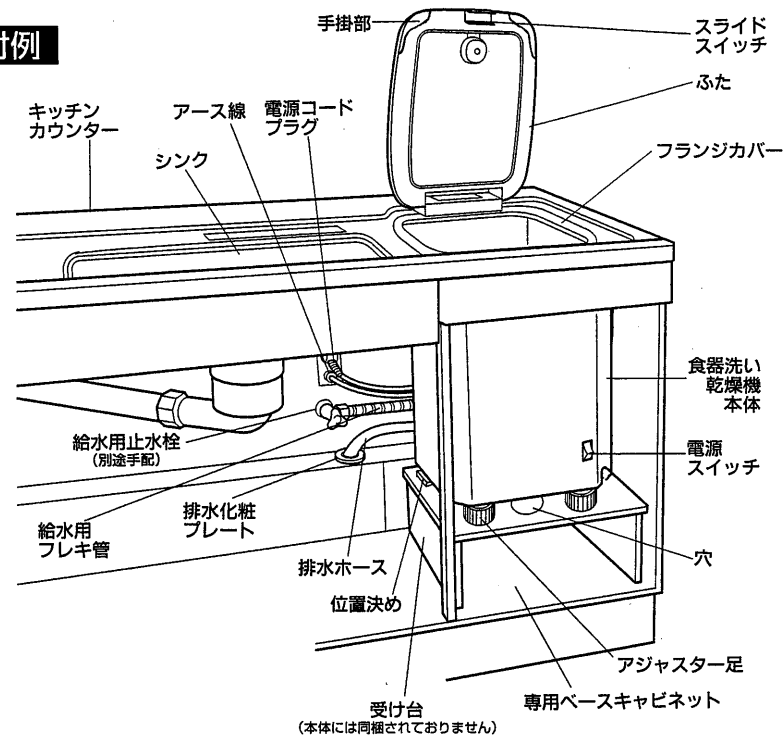


火気禁止



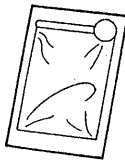
変形や火災の恐れがあります。

# 各部のなまえ


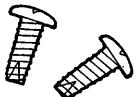
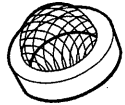
## 据付例



## ●ご使用に必要な同梱品……お客様におわたしください。

取扱説明書 (保証書付き) 	お客さまご相談窓口一覧表 	専用洗剤 
--	---	---

## ●据付工事に必要な同梱部品

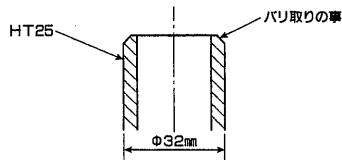
本体取付用ネジ 4×20 17本 	操作部取付用ネジ 4×12 2本 	フレキシ管用 フィルター付パッキン×1 
--	--	---

## △注意

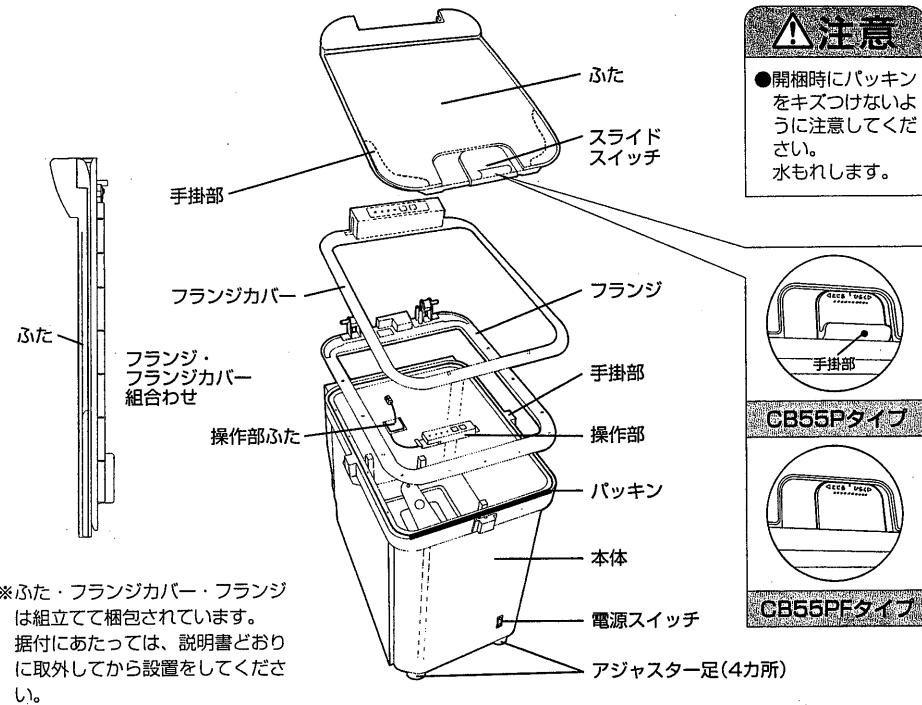
<b>!</b> 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。	<b>!</b> 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因になります。
<b>!</b> 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。 また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	<b>!</b> 交流100V以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
<b>!</b> 操作パネルを取り付けるとき及び取り付けした後操作パネルと食器洗い乾燥機本体とのケーブルがひっぱられないようにしてください。	

## お願い

電気工事に CS2	交流100V・15Aの専用回路が必要です。 専用回路には漏電遮断器を設けてください。 コンセントは125V・15Aのアースターミナル付きコンセントをご使用ください。 アース工事を必ず行ってください。 電気工事は全て電気設備技術基準に従ってください。
給水圧に CS2	食器洗い乾燥機の水道水圧は0.03～1MPa (0.3～10kgf/cm <sup>2</sup> ) の範囲で使用してください。 特に高水圧地域では給水管に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。 水もれの原因になります。
給湯接続に CS2	本機は給水にて十分な性能を発揮しますが、給湯接続すると洗浄時間が短縮されます。 給湯は中型 (350ℓ) 以上の深夜電力利用温水器、石油給湯器、10号以上の先止め式ガス給湯器等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。 70℃を越える湯を供給すると本機が故障する場合があります。 小型深夜電力利用温水器、元止め式湯沸器からの配管は絶対にしないでください。本機に給水されなかったり、湯沸器からの水もれの恐れがあります。
排水工事に CS2	排水本管に至るまでの接続部分は耐熱塩化ビニル管 (HT25相当品) を使用してください。 ビニル管の端面はバリのないように処理してください。 ビニル管の接着は必ず耐熱用のものを使用してください。

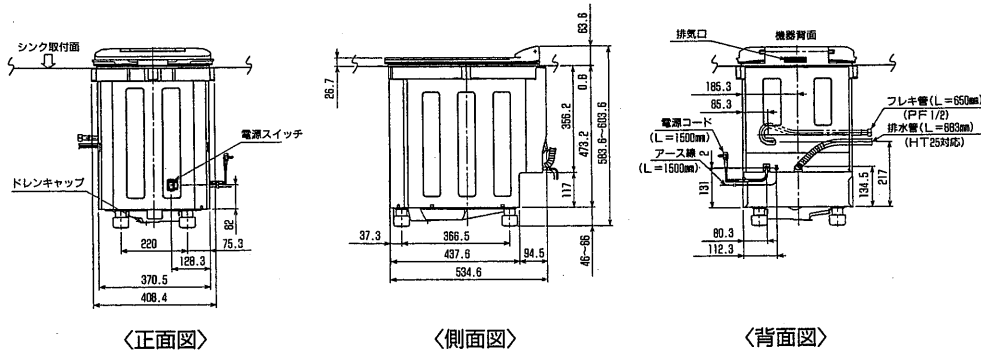


# 各部のなまえと外形寸法



**注意**  
 ●開棚時にパッキンをキズつけないように注意してください。水もれます。

※ふた・フランジカバー・フランジは組立てて梱包されています。据付にあたっては、説明書どおりに取外してから設置をしてください。

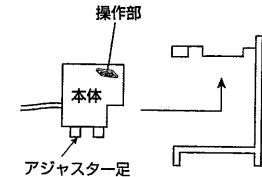
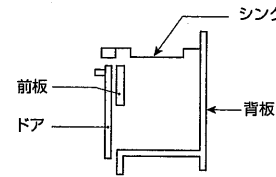


※出荷時、アジャスター足は46mm（最小寸法）に設定しています。

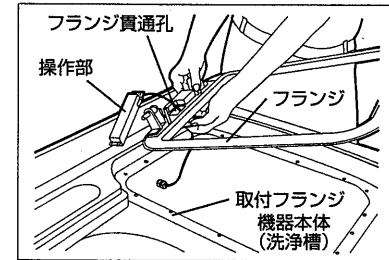
# 据付工事の概略

## キッチンへの組込方法 (キッチンカウンター据付済の場合)

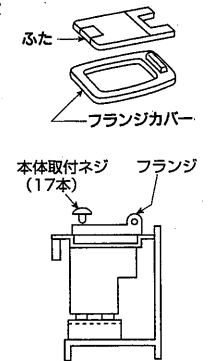
- 1 キッチンの食洗機取付部のドアを外す。(必要により前板を外す)
- 2 本体をキッチン内に組み込みアジャスター足により本体を取付フランジにあわせる。



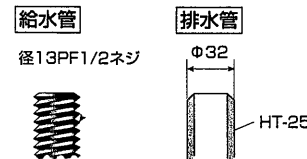
- 3 フランジを、取付フランジにネジ止めする前に、操作部をフランジの貫通孔に通してください。ネジ止めした後では、取付けができません。



- 4 フランジにより、本体をネジ（17本）で固定し、操作部をフランジにネジ（2本）でとりつけた後フランジカバー及びふたをとりつける。



- 5 給水管、排水管の位置を確認する。
- 6 給水チューブ、排水チューブを接続する。



- 7 ドアを取付け、電源プラグ、アース線を接続する。



# 据付前の準備

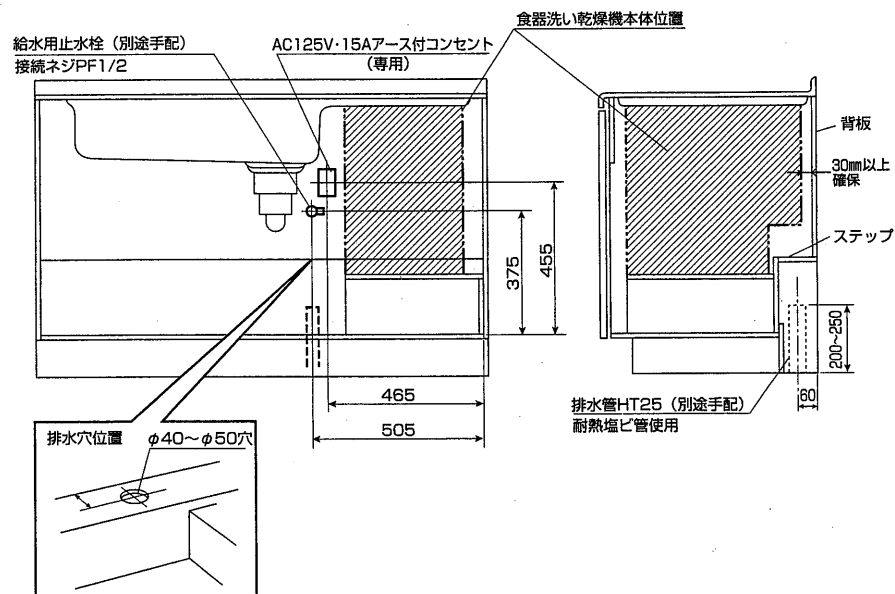
## 1 ベースキャビネットの設置

システムキッチンに同梱されている据付説明書に従い、専用ベースキャビネットを設置してください。

※キッチンカウンターは設置しないでください。

## 2 電源コンセント・給水栓の取付けと排水管の確認及び排水穴加工

下図に基づき電源コンセント・給水止水栓の取付け及び排水管の位置確認をしてください。つぎに排水管の真上のキャビネットステップ部にφ40～φ50の穴をあけてください。



# 据付手順

## 3 開梱

- 本体両端上部の手掛け部を持って本体を取出してください。(5ページ参照)
- 洗浄槽内に同梱部品一式が入っています。

### お願い

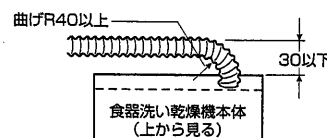
- 同梱部品がそろっていることを確認してください。⇒4ページ

### ⚠注意

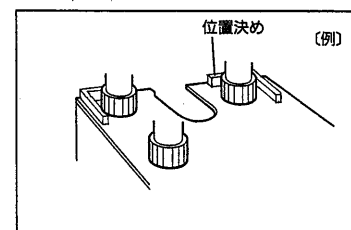
- 本体上部パッキンをキズつけないようにしてください。水もれます。

## 4 食器洗い乾燥機本体の据付

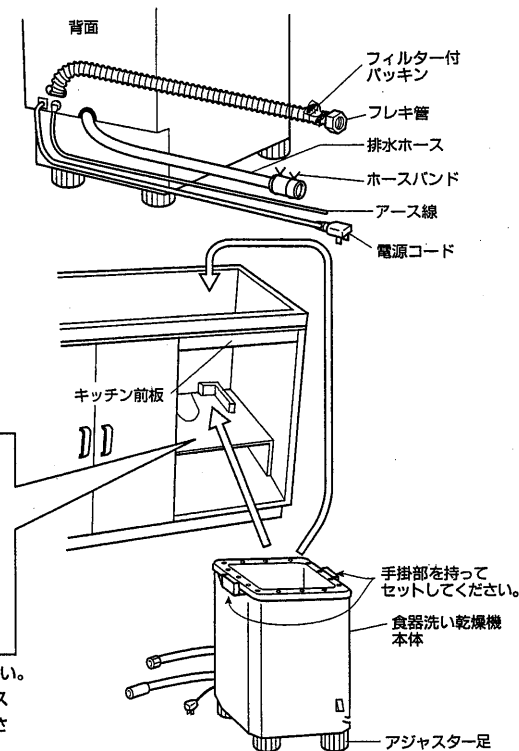
- ① フレキ管・排水ホース、電源コードを接続する方向に曲げます。
- ② フレキ管は下図を目安に曲げてください。キャビネットにあたります。



- ③ ベースキャビネットの正面又は、上面から食器洗い乾燥機本体をキャビネットの食器洗い乾燥機受け台に乗せます。

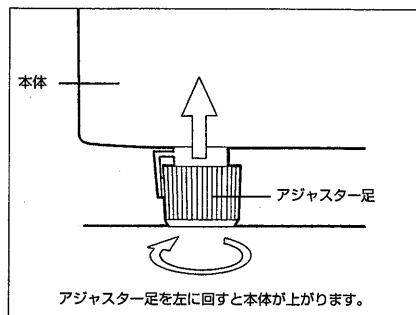


※据付に当たっては受け台を準備してください。受け台の高さは、本体高さ(P5参照) ベースキャビネットの高さ、取付フランジの高さにより設定してください。



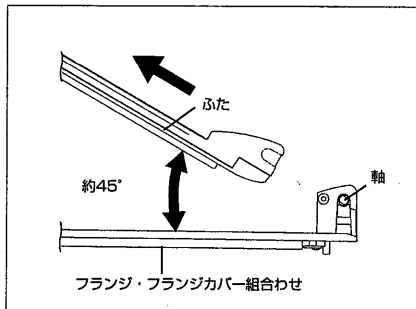
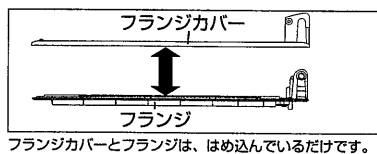
## 5 本体の高さをシンク側の取付フランジに接触するようにアジャスター足で調整します

- アジャスター足は前側2カ所、後側2カ所にありますので、調整してください。
- 図は食器洗い乾燥機前面左側のアジャスター足を示しています。



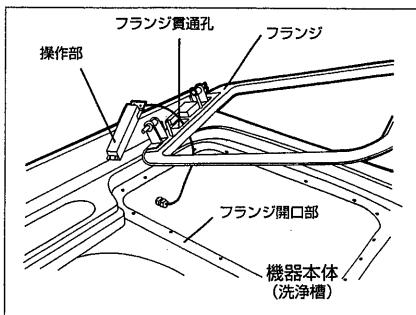
## 6 組付けてあるふた・フランジ・フランジカバーを外します。

- 約45°ふたを開いた状態でふたを引張り、ふたを取外します。



## 7 操作部をフランジ貫通孔に通します

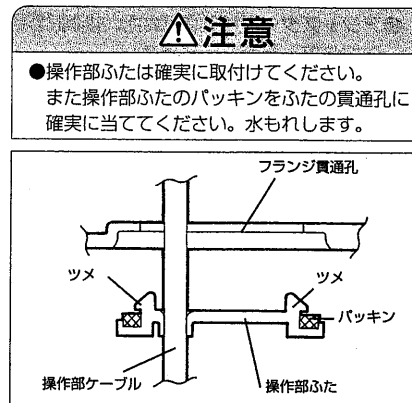
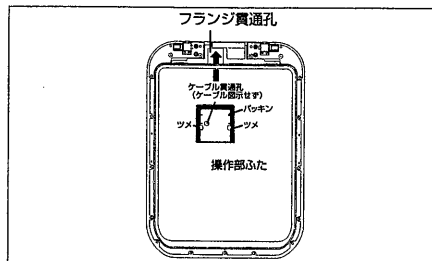
- フランジを取付フランジにネジ止めした後では操作部の取付けができませんのでご注意ください。



# 据付手順

## 8 操作部を通したフランジ貫通孔に操作部ふたを下からはめ込みます

- 操作部ケーブルが、手前から見て左側になるようにはめ込みます。(操作部ふたのパッキンがかくれている方が手前側です。)
- 操作部ふたの貫通孔に操作部ふたのパッキンが掛かるように取付けます。

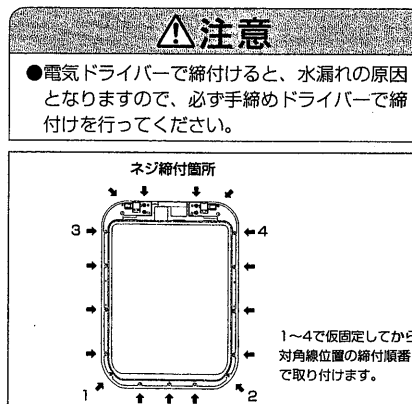
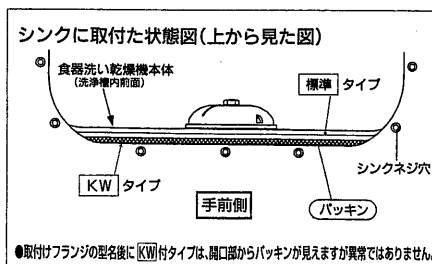


### ⚠注意

- 操作部ふたは確実に取付けてください。また操作部ふたのパッキンをふたの貫通孔に確実に当ててください。水もれします。

## 9 本体・取付フランジ・フランジの各ネジ孔をあわせて、本体取付用ネジ17本(同梱)で固定します

- 適正締付トルクは1.5N・m(15kgf・cm)以下です。



### ⚠注意

- 電気ドライバーで締付けると、水漏れの原因となりますので、必ず手締めドライバーで締付けを行ってください。

## 10 アジャスター足で本体の高さを再調整します

- 本体のアジャスター足がシンク側の受け台(キャビネット内)に付くように調整してください。(⑤参照)
- アジャスター足を調整した後⑨で取付けた固定ネジを適正締付トルクで増締めします。

### ⚠注意

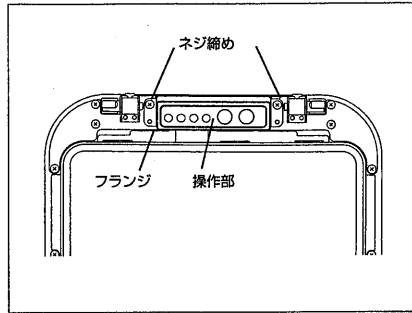
- アジャスター足で再度調整してください。確実にパッキンが押し当たっていないと、水もれします。

## 11 操作部を操作部取付用ネジ2本(同梱)で固定します

- 適正締付トルクは  
1N・m(10kgf・cm)です。

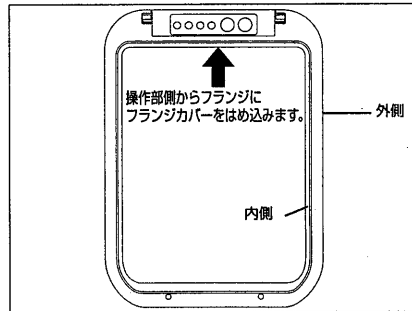
### ⚠注意

- 規定以上のトルクで締付けると、ネジバカになり水漏れします。



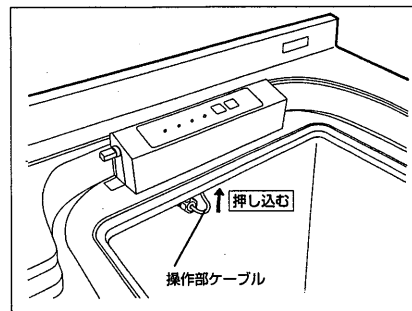
## 12 フランジカバーを取付けます

- 操作部側から、フランジカバーをフランジの上にかぶせ、フランジカバー(内側、外側)全周をパチッと音がするまで、はめ込んでください。



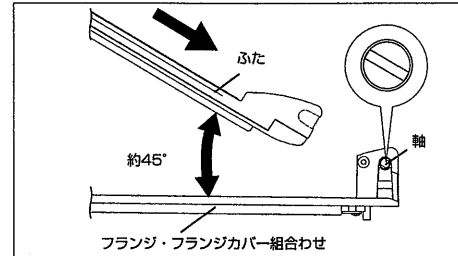
## 13 操作部ケーブルの長さを調節します。

- 操作部ケーブルのを④で取付けた操作部ふたのケーブル貫通孔に下側から押し込みたるまないように長さを調節します。

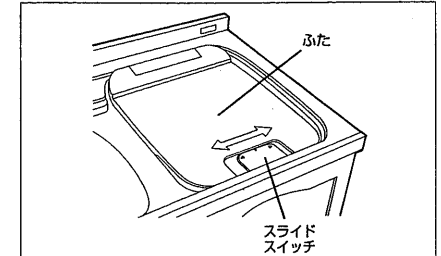


# 据付手順

## 14 ふたを取付けます



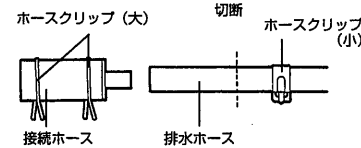
- フランジの軸の角度にふたの角度を合わせてはめ込んでください。



- ふたの開閉の確認を行ってください。スライドスイッチ操作はふたを押し下げながらしてください。

## 15 排水ホースを接続します

- 配管スペース付シンクキャビネットの場合、点検口ふたをあらかじめ取外してください。

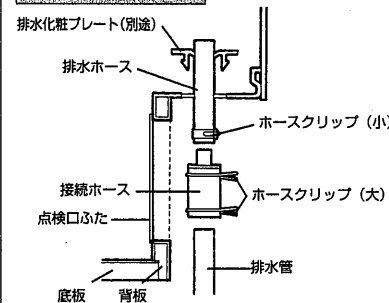


- ①排水ホースの長さを調整します。ホースクリップ(小)をベンチ等でつまみ、接続ホースを外します。
- ②排水ホースを排水管位置に合わせ、カッターなどで切断し、長さを調整します。

### ⚠注意

- 排水ホースが長すぎる場合は切断してください。排水ホースは、逆勾配にならないよう据え付けてください。動作不良の原因になります。

### 配管スペースアリ



- ③排水管に接続ホースを奥まで差し込み、ホースクリップ(大)で固定します。
- ④接続ホースに排水ホースを奥まで差し込み、ホースクリップ(小)で固定します。
- ⑤点検口ふたをもとに戻します。

### ⚠注意

- 接続ホース、排水ホースは奥まで差し込みホースクリップで固定してください。水もれします。

# 試運転と点検

## 工事後の点検

点検項目	チェック内容	チェック	
設置工事	トップカウンター	機器フランジとシンクは確実に固定されていますか？	
	本体ふた	ふたはスムーズに開閉できますか？	
	キャビネットの扉	扉はスムーズに開閉できますか？	
給排水工事	スライドスイッチ	スライドスイッチはスムーズに動作しますか？(スライドスイッチはふたを押付けたまま操作します。)	
	給湯の場合	給湯器の温度設定は70℃以下になっていますか？ フレキホースと食器洗い乾燥機専用止水栓の接続部にフィルターを挿入しましたか？	
	排水ホースの接続	排水ホースが確実に排水管に接続されていますか？ 排水ホース引き回し経路に逆勾配がありませんか？ 押しつぶれたり、無理に折れ曲がっていませんか？	
電気工事	電源接続	専用コンセント(125V 15A アース付コンセント)に接続しましたか？ アース工事は確実に行われていますか？	

## 試運転の手順

試運転の手順と確認	チェック内容	チェック
1 食器洗い乾燥機専用止水栓を開く	食器洗い乾燥機専用止水栓部と給水用フレキ管接続部の水もれはありませんか？	
2 電源スイッチを「入」にする	運転ランプは「消灯」していますか？	
3 ふたを閉じ、スライドスイッチを「とじる」の位置にあわせる	ふたは、きちんと閉じますか？	
4 「コース」キーを3回押す	「予洗」ランプが点滅していますか？	
5 「スタート」キーを押す	運転が開始しましたか？「予洗」ランプが点滅していますか？	
6 ふた周辺部の確認	ふた周辺から、水もれはありませんか？	
7 本体周辺部の確認	本体周辺部(シンクとの取付部)から水もれはありませんか？	
8 「スタート」キーを約2秒連続で押しつづける	「予洗」ランプが「消灯」しましたか？ 約1分間排水した後に、運転が終了します。	
9 排水ホース接続部の確認	排水ホース接続部から水漏れはありませんか？	
10 電源スイッチを「切」にし、「コース」キーを1回押す	ランプが点滅しない事を確認し、作業終了。	

## 異常時の処置

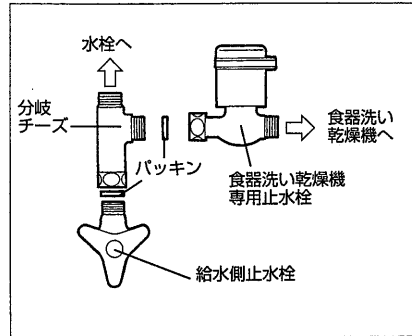
点滅しているランプ	調べるところ	処置方法
標準ランプ、念入りランプ	食器洗い乾燥機専用止水栓は開いていますか？	食器洗い乾燥機専用止水栓を開いてください。
予洗ランプ、乾燥ランプ	排水ホースはつぶれていませんか、折れていませんか？	排水ホースをなおしてください。
念入りランプ、予洗ランプ	機体内で水もれが発生しています。	電源スイッチを「切」にして食器洗い乾燥機専用止水栓を閉じてください。 サービスセンターに連絡してください。
念入りランプ、乾燥ランプ		

## 16 分岐チーズ及び食器洗い乾燥機専用止水栓を接続します(現場手配)

- 給水側止水栓に分岐チーズ、食器洗い乾燥機専用止水栓を確実に接続します。この時、パッキンを取付け、水もれないよう確実に取付けてください。

### △注意

- パッキンは必ず取付けてください。水もれします。

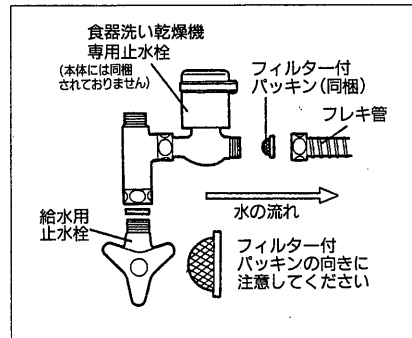



## 17 フレキ管を食器洗い乾燥機専用止水栓に接続します

- フレキ管を⑯で接続した食器洗い乾燥機専用止水栓に接続します。フィルター付パッキンを取付け、水漏れのないよう確実に接続します。

### △注意

- フレキ管は切断しないでください。
- 適正締付トルクは3N・m (30kgf・cm) です。
- パッキンは必ず取付けてください。水もれします。



製造元  三菱電機株式会社  
三菱電機ホーム機器株式会社  
〒369-1295 埼玉県大里郡花園町小前田1728-1